

登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ分割又ハ區分ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ甲建物ノ登記用紙中表示欄ニ殘餘部分ノ表示ヲ爲シ分割又ハ區分ニ因リテ他ノ部分ヲ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但分割又ハ區分シタル附屬建物ノミニ關スル表示番號アルトキハ其番號ヲモ朱抹スルコトヲ要ス

第九十五條 甲建物又ハ其附屬建物ヲ分割又ハ區分シテ之ヲ乙建物ノ附屬建物ト爲シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲ストキハ乙建物ノ登記用紙中表示欄ニ合併ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條 第八十三條及ヒ第八十四條ノ規定ハ第九十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十三條ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名住所及ヒ分割又ハ區分ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十七條 第八十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ第九十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス但甲建物

ノ登記用紙中甲區事項欄ニ分割又ハ區分シタル附屬建物ニ關スル登記原因ノ記載ナキトキハ第八十五條第二項乃至第四項ニ定メタル手續ヲ爲ス外乙建物ノ登記用紙中甲區事項欄ニ申請人ノ氏名住所及ヒ合併ニ因リテ其者ノ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十八條 甲建物ヲ乙建物又ハ其附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テ其登記ヲ爲スニ付テハ第八十六條及ヒ第八十七條ノ規定ヲ準用ス但甲建物ヲ乙建物ノ附屬建物ニ合併シタル場合ニ於テハ乙建物ノ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要セス

第九十九條 第八十八條ノ規定ハ建物又ハ附屬建物ノ建坪ノ増減ノ登記ニ之ヲ準用ス附屬建物ノ新築ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ附屬建物ノ種類構及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百條 第八十九條ノ規定ハ建物ノ番號ノ變更又ハ建物若クハ附屬建物ノ構造ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス

第八十八條及ヒ第八十九條ノ規定ハ建物ノ敷地ノ地目字若クハ番號ノ變更又ハ段別若クハ坪數ノ増減ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百一條 不動産ノ滅失ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ滅失ノ原因ヲ記載シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹シ其登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス



第二百二條 前條ノ場合ニ於テ滅失シタル不動産カ他ノ不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的  
タリシトキハ他ノ不動産ノ登記用紙中相當事項欄ニ滅失シタル不動産ノ表示ヲ爲シ滅失  
ノ原因及ヒ其不動産ノ滅失シタルコトヲ登記シ其不動産ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タ  
ル旨ヲ記載シタル登記中滅失シタル不動産ノ表示ヲ抹スルコトヲ要ス  
他ノ不動産ノ所在地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク前項ノ登記ヲ其登記所ニ  
囑託スルコトヲ要ス

前項ノ囑託ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク第一項ニ定メタル手續ヲ爲スコトヲ要ス

第二百三條 土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得其  
申請書ニハ收用シタル土地ノ全部又ハ一部カ不用ニ歸シタル場合ニ於テ舊所有者カ買戻權  
ヲ有スル旨ヲ記載シ補償金ノ受取證又ハ預證ヲ添附スルコトヲ要ス

官廳又ハ公署カ起業者ナルトキハ其官廳又ハ公署ハ遲滞ナク前項ノ登記ヲ登記所ニ囑託ス  
ルコトヲ要ス

第二百四條 不動産ヲ華族世襲財産ト爲スコトヲ許可シタルトキハ當該官廳ハ遲滞ナク世襲財  
産ノ創設ノ登記ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第二百五條 未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

一 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相続人カ土地臺帳ニ所有者トシテ登録セラレタルコト  
ヲ證スル者

二 判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第二百六條 未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

一 建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ登記セラレタル者

二 土地臺帳謄本ニ依リ自己又ハ被相続人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登録セラレタ  
ルコトヲ證スル者

三 既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

四 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者

第二百七條 前二條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ第二百五條第何號又ハ  
前條第何號ニ依リ登記ヲ申請スル旨ヲ記載シ必要ナル説明書類ヲ添附シ前條ノ規定ニ依ル  
申請ニ付テハ圖面ヲ添附スルコトヲ要ス但登記原因及ヒ其日附ヲ記載シ又ハ第三十五條第  
二號乃至第四號ニ掲ケタル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第二百八條 未登記ノ不動産所有權ノ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載ス  
ルコトヲ要ス



第九百九條 第二百二十八條及第二百二十九條ノ規定ハ未登記ノ不動產所有權ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第一百十條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動產所有權ノ登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ第一百五條又ハ第六百六條ノ規定ニ依リテ證明ヲ爲スコトヲ要セス

第三節 所有權以外ノ權利ニ關スル登記手續

第一百一十條 地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ登記シ若シ登記原因ニ存續期間地代又ハ其支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ登記スルコトヲ要ス

第一百一十二條 永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約又ハ民法第二百七十二條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十三條 地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百八十一條第一項但書、第二百八十五條第一項但書又ハ第二百八十六條ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百一十四條 地役權ノ設定ノ登記ヲ爲シタルトキハ要役地タル不動產ノ登記用紙中相當區事

項欄ニ承役地タル不動產ノ表示ヲ爲シ其不動產カ地役權ノ目的タル旨、地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載スルコトヲ要ス

要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滞ナク其登記所ニ承役地、要役地、地役權設定ノ目的並ニ範圍及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滞ナク要役地タル不動產ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百五條 先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ付テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百十六條 質權ノ設定又ハ轉質ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ辨濟期ノ定アルトキ利息ニ關スル定アルトキ、違約金若クハ賠償額ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百四十六條但書ノ定アルトキ、第三百五十六條若クハ第三百五十七條ノ規定ニ異ナリタル定アルトキ又ハ第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第一百七條 抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原



因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其發生期若クハ支拂時期ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ民法第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十八條 先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ其權利ノ目的カ所有權以外ノ權利ナルトキハ申請書ニ其權利ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス

第百十九條 質權又ハ抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テ設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ債務者ノ表示ヲ爲スコトヲ要ス質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權又ハ抵當權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十條 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其債權ノ價格ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十一條 官吏又ハ公吏ノ身元保證ヲ目的トスル抵當權ノ設定ノ登記ハ囑託書ニ其官吏又ハ公吏カ差出シタル登記請求書ヲ添附シテ當該官廳又ハ公署ヨリ遲滯ナク之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第百二十二條 數箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ保存又ハ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ各不動産ニ關スル權利ノ表示ヲ爲スコトヲ

要ス

第百二十三條 債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ニ因ル先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十四條 第百二十二條ノ規定ニ從ヒテ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲ストキハ其不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ他ノ不動産ニ關スル權利ノ登記ヲ爲シ其權利カ共ニ擔保ノ目的タル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十五條 先取特權、質權又ハ抵當權ノ移轉ノ登記ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス  
第百二十六條 數箇ノ不動産ニ關スル權利カ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ其一箇ノ不動産ニ關スル權利ヲ目的トスル先取特權、質權又ハ抵當權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ他ノ不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其權利ノ表示ヲ爲シ且其權利ノ變更又ハ消滅シタル旨ヲ登記シ第百二十四條ノ規定ニ從ヒテ爲シタル登記中變更又ハ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス其一箇ノ不動産ニ關スル權利ノ表示ニ付キ變更ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

第百十四條第二項及ヒ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス



第二百二十七條 賃借權ノ設定又ハ賃借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ借賃ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ借賃ノ支拂時期ノ定アルトキ又ハ賃借權ノ移轉若クハ賃借物ノ轉貸ヲ許シタルトキハ之ヲ記載シ賃貸借ヲ爲ス者カ處分ノ能力若クハ權限ヲ有セサル者ナルトキハ其旨ヲ記載スルコトヲ要ス

賃借權ノ移轉又ハ賃借物ノ轉貸ヲ許シタル旨ノ登記アラサル場合ニ於テ賃借權ノ移轉又ハ賃借物ノ轉貸ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ賃貸人ノ承諾書ヲ添附スルコトヲ要ス

第二百二十八條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百二十九條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ且甲區事項欄ニ所有者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百三十條 未登記ノ不動産ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百三十一條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番

號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ爲シ甲區事項欄ニ何權利ヲ目的トスル何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ所有權ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ且所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百三十二條 既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

第二百三十三條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中所有權以外ノ權利ヲ登記スヘキ相當區事項欄ニ權利者ノ氏名、住所及ヒ何權利ノ登記ヲ命スル裁判ニ因リテ何權利ノ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百三十四條 前四條ノ規定ハ所有權以外ノ權利又ハ其權利ヲ目的トスル權利ノ變更又ハ處分ノ制限ノ登記ニ之ヲ準用ス

第二百三十五條 官廳又ハ公署カ未登記ノ不動産ニ付キ所有權以外ノ權利若クハ其權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記又ハ既登記ノ不動産ニ付キ未登記ノ所有權以外ノ權利ヲ目的トスル權利ニ關スル登記ヲ登記所ニ囑託スル場合ニ於テハ裁判ニ依リテ其權利ヲ證スルコトヲ要ス



第三百三十六條 建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ設計書ニ定メタル其建物ノ種類、構造、建坪、建物ヲ新築スヘキ郡、市、區、町村字、土地ノ番號及ヒ工事費用ノ豫算額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載シ設計書及ヒ圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三百三十七條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ番號ヲ記載シ表示欄ニ新築スヘキ建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類構造及ヒ建坪ハ設計書ニ依ル旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ登記義務者ノ氏名、住所及ヒ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲スニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百三十八條 既登記ノ主タル建物ノ附屬建物ヲ新築スル場合ニ於テ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲ストキハ主タル建物ノ登記用紙中表示欄ニ新築スヘキ附屬建物ノ表示ヲ爲シ且其建物ノ種類、構造及ヒ建坪ハ設計所ニ依ル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百二十九條 建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滯ナク所有權ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス但第六條及ヒ第七條ノ適用ヲ妨ケス

附屬建物ヲ新築スルニ付キ不動産工事ノ先取特權ノ保存ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其建

物ノ建築カ終ハリタルトキハ其建物ノ所有者ハ遲滯ナク新築ノ登記ヲ申請スルコトヲ要ス  
第四百十條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中表示欄ニ更ニ建物ノ表示ヲ爲シ前ノ表示及ヒ其番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス但前條第一項ノ申請ニ因リテ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ關シテ甲區事項欄ニ爲シタル登記ヲモ朱抹スルコトヲ要ス

第四節 抹消ニ關スル登記手續

第四百十一條 登記シタル權利カ或人ノ死亡ニ因リテ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其死亡ヲ證スル戶籍吏ノ書面其他ノ公正證書ヲ添附スルトキハ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十二條 登記ノ權利者カ登記義務者ノ行方ノ知レサルニ因リ之ト共ニ登記ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟法ノ規定ニ從ヒテ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其謄本ヲ添附シ登記權利者ノミニテ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書及ヒ債權竝ニ最後ノ二年分ノ定期金ノ受取證書ヲ添附シタルトキハ登記權利者ノミニテ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關スル登記ノ抹消ヲ申請



スルコトヲ得

第四百十三條 華族世襲財産ノ解除ヲ認可シタルトキハ當該官廳ハ遲滯ナク華族世襲財産ノ創設ノ登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百十四條 假登記ノ抹消ハ假登記名義人ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

申請書ニ假登記名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登記上ノ利害關係人ヨリ假登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四百十五條 第三條ニ掲ケタル訴ヲ却下シタル裁判若クハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判力確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ、又ハ請求ノ目的ニ付キ和解アリタルトキハ第一審裁判所ハ遲滯ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若クハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若クハ和解ヲ證スル裁判所書記ノ書面ヲ添附シテ豫告登記ノ抹消ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス

第四百十六條 登記ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ其抹消ニ付キ登記上利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第四百十七條 登記ヲ抹消スルニハ抹消ノ登記ヲ爲シタル後抹消スヘキ登記ヲ抹消スルコト

ヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ抹消ニ係ル權利ヲ目的トスル第三者ノ權利ニ關スル登記アルトキハ登記用紙中相當區事項欄ニ其第三者ノ權利ノ表示ヲ爲シ何權利ノ登記ヲ抹消シタルニ因リテ抹消ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第四百十八條 第二十九條ノ規定ニ從ヒ官廳又ハ公署ヨリ公賣處分ニ因ル權利移轉ノ登記ノ囑託アリタル場合ニ於テハ滯納處分ニ關スル差押ノ登記ヲ抹消シ若シ其權利ヲ目的トセル先取特權、質權又ハ抵當權ノ登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス

第四百十九條 第三條ノ規定ニ從ヒ土地收用ニ因ル所有權移轉ノ登記ノ申請又ハ囑託アリタル場合ニ於テ其不動産ノ登記用紙中所有權又ハ所有權以外ノ權利ニ關スル登記アルトキハ其登記ヲ抹消スルコトヲ要ス但其不動産ノ爲メニ存スル地役權ノ登記ハ此限ニ在ラス

第五章 抗告

第五百十條 登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄地方裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百十一條 抗告ハ登記所ニ抗告狀ヲ差出シテ之ヲ爲ス

第五百十二條 抗告ハ新ナル事實及ヒ證據方法ヲ以テ其證據トナスコトヲ得ス



第五百五十三條 登記官吏カ抗告ヲ理由ナシトスルトキハ三日内ニ意見ヲ附シテ事件ヲ抗告裁判所ニ送付スルコトヲ要ス

登記官吏カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ相當ノ處分ヲ爲スコトヲ要ス若シ登記完了ノ後ナルトキハ其登記ニ付キ異議アル旨ノ附記ヲ爲シ之ヲ登記上ノ利害關係人ニ通知シ且前項ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

第五百五十四條 抗告ハ執行ヲ停止スル效力ヲ有セス抗告裁判所ハ抗告ニ付キ決定ヲ爲ス前登記官吏ニ假登記ヲ命スルコトヲ得

第五百五十五條 抗告裁判所カ抗告ヲ理由アリトスルトキハ決定ヲ以テ登記官吏ニ相當ノ處分ヲ命スルコトヲ要ス

抗告裁判所ハ登記上ノ利害關係人ニ決定ノ謄本ヲ送達スルコトヲ要ス

第五百五十六條 抗告裁判所ノ決定ニハ理由ヲ附スルコトヲ要ス

第五百五十七條 登記官吏カ抗告裁判所ノ命令ニ依リテ登記ヲ爲ストキハ命令ヲ爲シタル裁判所、命令ノ年月日、命令ニ依リテ登記ヲ爲ス旨及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス

第五百五十八條 抗告裁判所ノ決定ニ對シテハ法律ニ違背シタル決定ナルコトヲ理由トスルト

キニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百五十四條乃至第五百五十七條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第五百五十九條 送達ニ付テハ民事訴訟法ノ規定ヲ準用シ抗告ノ費用ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

附 則

第六十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十二年勅令一三四號ヲ以テ明治三十二年六月十六日ヨリ施行スル旨ヲ定メタリ）

第六十一條 明治十九年法律第一號登記法中地所及ヒ建物ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第六十二條 明治六年第十八號布告地所質入書入規則又ハ同八年第四百八十八條布告建物書入質入規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ一年內ニ債權者ヨリ其登記ヲ申請セサルトキハ其權利ハ公證ノ效力ヲ失フ  
前項ノ規定ニ從ヒテ登記シタル權利ノ順位ハ公證ノ順位ニ依ル  
第一項ニ定メタル登記ニ關スル手續ハ司法大臣之ヲ定ム

第六十三條 本法施行前ニ登記シタル不動産ニ付キ本法施行ノ後登記ノ申請アリタル場合



ニ於テ登記ヲ爲ストキハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記番號ヲ記載シ表示欄ニ不動産ノ表示ヲ移シ相當區位番號欄及ヒ事項欄ニ舊登記簿ノ用紙中抹消ニ係ラサル番號及ヒ事項ヲ移シ舊登記簿ノ用紙中新登記簿ノ用紙ニ移シタル番號及ヒ事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス  
第百六十四條 本法ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

### 第二款 不動産登記法施行細則

#### 不動産登記法施行細則(明治三十二年五月司法省令第十一號) (同三十七年同省令第一八號迄數次改)

##### 第一章 登記ニ關スル帳簿

第一條 土地登記簿ハ附錄第一號雜形ニ依リ建物登記簿ハ附錄第二號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ  
第二條 共同人名簿ハ土地共同人名簿及ヒ建物共同人名簿ノ二種トス  
共同人名簿ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ別冊ト爲ス但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得  
共同人名簿ヲ合綴シタル場合ニ於テハ登記簿ヲ分設シタル區畫毎ニ見出ヲ附スヘシ

第三條 土地共同人名簿ハ附錄第三號雜形ニ依リ建物共同人名簿ハ附錄第四號雜形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 登記簿及ヒ共同人名簿ハ登記所ノ請求ニ因リ地方裁判所長之ヲ交付スヘシ  
登記所ハ翌年中ニ必要ナル帳簿ノ冊數及ヒ各冊ノ枚數ヲ見積リ毎年十一月中ニ請求ヲ爲スヘシ但區裁判所出張所ノ帳簿ハ管轄區裁判所ヨリ之ヲ請求スヘシ  
豫定外ニ帳簿ノ必要ヲ生シタルトキハ臨時其請求ヲ爲スコトヲ得

第五條 登記簿及ヒ共同人名簿ノ用紙ニハ豫メ丁數ヲ記入スヘシ  
第六條 土地登記見出帳ハ附錄第五號雜形ニ依リ土地分合登記見出帳ハ附錄第六號雜形ニ依リ建物登記見出帳ハ附錄第七號雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條 土地登記見出帳ニハ土地ノ番號ヲ逐ヒ豫メ各筆ノ見出欄ヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ其登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ  
第八條 土地分合登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ土地ノ分合ニ關スル登記ヲ爲ス毎ニ其土地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部(十百千ノ數ヲ冠スルモノハ一ノ部ニ記入スルノ類)ニ土地ノ番號、登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ但土地カ合併ニ因リ二箇以上ノ番號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ



前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ  
第九條 建物登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番額ヲ記載スル毎ニ敷地ノ番號ノ頭字ニ依リ相當ノ部ニ敷地ノ番號登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲ記入スヘシ但敷地カ二個以上ノ番號ヲ有スルトキハ其少キ番號ノ部ニノミ記入スヘシ

第十條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳ノ備考欄ニ事由ヲ記入シ其見出ヲ朱抹スヘシ  
第十一條 受附帳ハ附録第八號雜形ニ依リ毎年之ヲ調製スヘシ

第十二條 受附番號ハ一个年毎ニ更新スヘシ

第十三條 受附帳ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十四條 登記所ニハ登記簿、共同人名簿、見出帳及ヒ受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 謄本抄本交付帳
- 二 申請書囑託書通知書附屬書類綴込帳
- 三 圖面綴込帳

四 受領證原符元帳

五 各種通知簿

六 登記立會調書綴込帳

七 決定原本綴込帳

八 登記簿謄本綴込帳

九 土地臺帳謄本

十 土地異動通知書綴込帳

十一 土地登記濟通知簿

十二 抗告書類綴込帳

十三 本登記濟證交付帳

十四 印鑑簿

十五 印鑑證明書類綴込帳

十六 還納受領證綴込帳

第十四條ノ二 前條第一號第二號第四號乃至第八號第十號乃至第十三號第十五條及ヒ第十六條ノ帳簿ハ一个年毎ニ別冊ト爲スヘシ



第十五條 申請書、囑託書並ニ附屬書類ハ受附番號ノ順序ニ依リテ之ヲ編綴スヘシ  
第十六條 圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ

第十七條 不動産登記法第四十四條ノ規定ニ依リ申請書ニ添附シタル書面二通ノ内一通ハ登記所ニ之ヲ保存スヘシ

第十八條 第十四條第五號ノ通知簿ニハ不動産登記法第六十一條第六十三條第七十五條第一項第六十四條第二項第二百二十七條第二項第五百十三條第二項及ヒ本令第六十二條第一項第六十三條第一項第六十九條ノ通知事項、通知ヲ受クル者及ヒ通知ヲ發スル年月日ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ

第十九條 不動産登記法第十一條第二項ノ規定ニ依リ土地臺帳所管廳ヨリ受ケタル通知書ハ登記簿ヲ分設シタル區畫ニ從ヒ之ヲ編綴シ丁數ヲ附スヘシ但便宜ニ依リ之ヲ合綴スルコトヲ得

第二十條 事變ヲ避クル爲メ登記簿又ハ其附屬書類ヲ登記所外ニ持出シタルトキハ登記官吏ハ速ニ其旨ヲ司法大臣ニ具申スヘシ

第二十一條 裁判所又ハ豫審判事ヨリ申請書其他ノ附屬書類ヲ送附スヘキ命令又ハ囑託アリ

タルトキハ登記官吏ハ其關係アル部分ニ限り之ヲ送付スヘシ

第二十二條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ登記官吏ハ遲滯ナク其事由、年月日、滅失セン登記簿ノ冊數其他不動産登記法第二十三條ノ告示ヲ爲スニ必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シ且回復登記期間ヲ豫定シ地方裁判所長ニ申報スヘシ但區裁判所出張所ノ申報ハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

地方裁判所長カ前項ノ申報ヲ受ケタルトキハ相當ノ調査ヲ爲シタル後司法大臣ニ具申ヲ爲スヘシ

第二十三條 登記簿及ヒ其附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ詳細其狀況ヲ取調ヘ且處分方法ヲ具シ前條ノ例ニ準シ申報又ハ具申ヲ爲スヘシ

第二十四條 登記所ニ於テ登記ニ關スル帳簿又ハ書類ヲ廢毀セントスルトキハ目錄ヲ作り地方裁判所長ノ認可ヲ受クヘシ但區裁判所出張所カ認可ヲ請フトキハ管轄區裁判所ヲ經由スヘシ

第二十五條 不動産ノ所有者ハ其本籍地又ハ所在地ノ市、區、町村長（市、區、町村長ナキ地ニ於テハ其職務ヲ行フ吏員）ノ證明ヲ得タル印鑑ヲ不動産所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ



不動産ヲ所有スル法人又ハ外國會社ノ代表者ハ法人又ハ外國會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ノ説明ヲ得タル印鑑ヲ不動産所在地ヲ管轄スル登記所ニ提出スヘシ但法人又ハ外國會社ノ登記ニ關シ印鑑ヲ提出シタル登記所ト不動産所在地ヲ管轄スル登記所ト同一ナルトキハ此限ニ在ラス

第二十六條 印鑑ハ附錄第九條雜形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二十七條 印鑑鑄調製ノ様式及ヒ貼付ノ方法等ハ地方裁判所長之ヲ定ムヘシ

第二十八條 第二十五條ノ規定ハ官廳及ヒ公署ニハ之ヲ適用セス

第二十九條 登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付又ハ登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

代理人カ前項ノ請求ヲ爲ストキハ申請書ニ其權限ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第三十條 土地登記簿謄本ノ交付又ハ土地登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但閱覽ヲ請求スル申請書ニハ利害ノ關係アル事由ヲ記載シ又ハ其事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

- 一 土地所在ノ郡、市、區、町村、字及ヒ土地ノ番號
- 二 手数料ノ金額

三 登記所ノ表示

四 年月日

第三十一條 土地登記簿抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ其申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

第三十二條 前二條ノ規定ハ建物登記簿ノ謄本若クハ抄本ノ交付又ハ建物登記簿若クハ附屬書類ノ閱覽ノ請求ニ之ヲ準用ス但建物ノ番號アルトキハ申請書ニ其番號ヲモ記載スヘシ

第三十三條 不動産登記法第二十一條第二項ノ郵送料ハ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第三十四條 登記官吏カ第二十九條ノ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ請求ノ目的、申請人ノ氏名、受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シタル上受附番號ノ順序ニ從ヒテ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第三十五條 登記簿ノ謄本ハ登記簿ト同一様式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作り其末尾ニ左ノ認證文ヲ記載シタルモノヲ添附シテ契印ヲ爲シ登記官吏之ニ年月日ヲ記載シ且登記所ノ印ヲ押捺スヘシ

此謄本ハ登記簿ニ依リ之ヲ作り茲ニ登記簿ト相違ナキコトヲ認證ス  
前項ノ規定ハ登記簿ノ抄本ニ之ヲ準用ス但抄本用紙ハ美濃野紙ヲ用ユヘシ

第三十六條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ交付スルトキハ謄本抄本交付帳ニ謄本又ハ抄本ノ區別



交付ノ年月日及ヒ申請人ノ氏名ヲ記載シ謄本又ハ抄本ト契印スヘシ

前項ノ規定ハ登記簿ノ謄本ヲ他ノ登記所ニ移送スル場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 登記簿又ハ附屬書類ノ閲覧ハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第三十七條ノ二 土地臺帳謄本及ヒ印鑑簿ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

受附帳、登記立會調書綴込帳、登記簿謄本綴込帳及ヒ土地異動通知書綴込帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本綴込帳抗告書類綴込帳及ヒ印鑑證明書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ

謄本抄本交付帳、受領證原符元帳、各種通知簿、土地登記濟通知簿、本登記濟證交付帳及ヒ還納受領證綴込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

前三項ノ帳簿ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第二章 登記申請ノ手續

第三十八條 登記ヲ申請スルニハ申請書ニ其登記ヲ申請スルニ必要ナル事項ノ外登録稅額ヲ記載スヘシ但登録稅法第二條第一項第一號乃至第十七號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スヘシ

第二十九條 申請書カ數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ登記權利者又

ハ登記義務者カ多數ナルトキハ其一人ノ契印ヲ以テ足ル

第四十條 登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ニ其旨ヲ記載スヘシ

第四十一條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定シタル管轄登記所ニ登記ヲ申請スルトキハ申請書ニ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十二條 不動産登記法第二百二十八條又ハ第三百三十條ノ規定ニ依リテ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ權利ノ目的タル不動産カ建物ナルトキハ申請書ニ圖面ヲ添附スヘシ

第四十三條 建物ノ圖面ニハ不動産登記法第三十六條第一號第二號竝ニ第三十七條ニ掲ケタル事項及ヒ敷地ノ方法並ニ建物ノ形狀、間尺、位置ヲ記載シテ申請人署名捺印スヘシ

圖面ハ總テ墨引、墨字ト爲シ若シ登記ノ目的外ナル建物アルトキハ其圖ハ朱引、朱字ト爲スヘシ

圖面ハ差濃紙ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

第四十四條 登記原因及ヒ登記ノ目的カ同一ニシテ且登録稅法第二條第一項第十號第十二號乃至第十六號第二十一號但書及ヒ第二十二條但書ノ規定ニ依リ登録稅ヲ納付スヘキ場合ニ於テ數箇ノ登記所ノ管轄内ニ在ル數箇ノ不動産ニ關スル權利ノ登記ヲ申請スルトキハ最初



ニ登記ヲ申請スル登記所ニ登録税ノ全額ヲ納付スヘシ  
前項ノ規定ニ從ヒ登録税ヲ納付シタルトキハ登記官吏ハ登記ヲ申請スヘキ登記所ノ數ニ應  
シ登録税ノ受領證ヲ申請人ニ交付スヘシ但二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號  
ヲ附スヘシ

申請人カ他ノ登記所ニ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ受領證ヲ添付スヘシ

第四十五條 不動産登記法第四十四條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記濟證カ滅失シタル旨ヲ記  
載スヘシ

第四十六條 不動産登記法第四十四條ニ掲ケタル書面ニハ左ノ諸件ヲ記載シ保證人署名捺印  
スヘシ

- 一 登記ヲ受クヘキ不動産ノ表示及ヒ登記ノ目的
- 二 登記義務者ノ人違ナキコト
- 三 保證人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號
- 四 保證人ノ住所、年齢
- 五 年月日

### 第三章 登記手續

第四十七條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク申請ニ關スル總テノ事項ヲ調査  
スヘシ

第四十八條 登記番號ハ不動産登記法施行ノ日ヨリ更ニ新ナル番號ヲ附スヘシ

第四十九條 表示欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ表示番號欄及ヒ表示欄ニ縦線ヲ劃シ事項欄ニ登  
記ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及ヒ事項欄ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

假登記ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縦線ヲ劃シ其左側ニ本登記ヲ爲シ得ヘキ相當ノ餘白  
ヲ存シタル上順位番號欄及ヒ事項欄ニ縦線ヲ劃スヘシ

第五十條 登記ノ申請書ニ圖面ヲ添附シタル場合ニ於テハ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記  
ノ末尾ニ圖面綴込帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記載スヘシ

第五十一條 申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第五十二條 不動産登記法第七十六條第一項ノ場合ニ於テハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番  
號ノ第二ナルコトヲ附記シ前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字ヲ追記スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條 不動産登記法第五十一條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番  
號ヲ記載シ氏名、住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ全員ノ氏名、住所ヲ記載シ豫備欄ニ



登記番號、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シテ登記官吏捺印スヘシ

第五十四條 共同人名簿ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所等ヲ記載シタルトキハ氏名、住所欄及ヒ持分欄ニ於ケル縦線ヲ番號欄及ヒ豫備欄ニ延長シテ餘白ト分界スヘシ

登記原因ニ持分ノ定ナキトキハ持分欄ニハ朱線ヲ交叉スヘシ

第五十五條 共同人名簿ニ記載シタル登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所ノ變更又ハ持分ノ移轉若クハ變更ニ付キ登記簿ニ登記ヲ爲シタルトキハ人名簿中豫備欄ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ヲ朱抹スヘシ

第五十六條 前條ノ場合ニ於テ豫備欄ニ餘白ナキトキハ新ニ番號欄ニ前番號ヲ轉寫シ其左側

ニ第二文字、前番號ノ用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ氏名、住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名ノミヲ記載シ持分欄ニハ朱線ヲ交叉シ豫備欄ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ノ文字繼續用紙ヲ編綴セル共同人名簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續ニル旨ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條 共同人名簿ニ記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ登記用紙中相當區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ共同人名簿ニ於ケル番號ヲ記載スヘシ

第五十八條 登記シタル權利ノ順位ヲ讓渡シ又ハ拋棄シタル場合ニ於テ變更登記ヲ爲シタルトキハ其權利ノ登記ノ順位番號ノ左側ニ變更登記ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第五十九條 附記登記ヲ爲シタルトキハ主登記ノ順位番號ノ左側ニ附記番號ヲ記載スヘシ

第六十條 登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルニ因リ登記回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ前記ノ登記濟證ニ不動産登記法第六十條第一項ノ手續ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第六十一條 土地臺帳所管廳ヨリ土地ノ異動ニ關スル通知アリタル場合ニ於テ其土地カ既登記ナルトキハ見出帳中相當欄ニ其通知書ヲ編綴セル土地異動通知書送帳ノ冊數及ヒ丁數ヲ記入シ其土地カ未登記ナルトキハ土地臺帳本ノ別冊ニ其土地ニ關スル事項ヲ記載シ備考欄ニ土地臺帳本原簿第何冊第何丁第何行ヨリ移シタル旨ヲ記入シ土地臺帳本原簿ノ備考欄ニハ別冊第何冊第何丁第何行ニ移シタル旨ヲ記入スヘシ

異動ノ通知ヲ受ケタル既登記ノ土地ニ付キ其異動ニ關シ變更登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中其異動ニ關シ土地異動通知書ノ冊數、丁數欄ニ爲シタル記入ヲ朱抹スヘシ



第六十二條 不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カル場合ニ於テ裁判所ノ指定ニ因リ登記ヲ爲シタルトキハ登記所ハ速ニ其旨ヲ他ノ登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ見出帳中備考欄ニ其通知事項ヲ記入スヘシ

第六十三條 地役權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク其登記所ニ變更又ハ消滅ノ事由及ヒ申請書受附ノ年月日ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ遲滯ナク要役地タル不動産ノ登記用紙中相當區事項欄ニ通知ヲ受ケタル事項ヲ記載スヘシ

第六十四條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ表示欄ニ閉鎖ノ事由及其年月日ヲ登記シ登記官吏捺印シ不動産ノ表示、表示番號及ヒ登記番號ヲ朱抹スヘシ

第六十五條 不動産登記法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ多數ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及ヒ他ノ人員ヲ登記スルヲ以テ足ル

第六十六條 不動産登記法第四十七條第二號ノ受領證ハ登記濟證ヲ交付スルトキ之ヲ還納セシムヘシ

還納ヲ受ケタル受領證ハ之ヲ保存スヘシ

第六十七條 不動産登記法第十二條第二項ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 申請人ノ氏名、住所
  - 二 申請人カ登記官吏ナルコト又ハ登記官吏ノ妻若クハ登記官吏ノ四親等内ノ親族ナルコト
  - 三 登記ヲ爲スヘキ不動産ノ表示及ヒ登記ノ目的
  - 四 申請書受附ノ年月日及ヒ受附番號
  - 五 立會人ノ氏名、住所及ヒ年齢
  - 六 立會人カ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及ヒ年月日又ハ登記番號
- 第六十八條 不動産登記法第十一條第一項ノ通知ニハ土地所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、段別若クハ坪數、申請書受附ノ年月日、登記ノ目的及ヒ申請人ノ氏名、住所ヲ記載スヘシ
- 前項ノ通知ハ登記ヲ完了シタル日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スヘシ但地租納期開始前十五日内ハ其都度通知ヲ爲スヘシ

第六十九條 登記官吏カ不動産登記法第二百二十九條第三百一一條又ハ第三百三三條ノ規定ニ



依リ登記ヲ爲シタルトキハ不動産ノ表示、登記原因、其日附、登記權利者ノ氏名、住所、登記ノ目的及ヒ登記濟ノ旨ヲ不動産ノ所有者ニ通知スヘシ但第百三十一條又ハ第百三十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ所有權以外ノ權利者ニモ其通知ヲ爲スヘシ

第七十條 不動産登記法第六十一條第六十三條第七十五條第一項及ヒ前條ノ通知ハ郵便其他便宜ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第七十一條 不動産登記法第九條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ管轄ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ登記シ其表紙ニ登記シタル登記所ノ名稱ヲ變更スヘシ  
同法第五十九條ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ行政區畫又ハ其名稱ノ變更アリタルコト及ヒ其年月日ヲ登記シ其表紙ニ登記シタル行政區又ハ其名稱ヲ變更スヘシ

附則

第七十二條 不動産登記法第六十三條ノ規定ニ依リ舊登記簿ヨリ登記ヲ移シタルトキハ表示欄及ヒ事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ舊登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及ヒ年月日ヲ登記シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ舊登記簿表題部取消欄ニ新登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨新欄ノ番號及ヒ年月日ヲ登記シ登記官吏捺印スヘシ

第七十三條 不動産登記法第六十三條ノ登記ヲ爲ササル不動産ニ付キ其滅失ノ登記ノ申請アリタルトキハ舊登記簿ニ其登記ヲ爲スヘシ

第七十四條 受附番號ハ明治三十二年分ニ限り六月十六日ヨリ之ヲ更新シ十二月三十一日ニ止ムヘシ

第七十五條 舊登記簿ノ謄本ハ舊謄本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ  
第七十六條 明治二十六年(三月)司法省令第三號ニ依リ既ニ印鑑ヲ提出シタル者ハ更ニ之

提出スルコトヲ要セス  
(雛形ハ之ヲ略ス)

第二節 登記簿ノ謄本抄本請求手数料

司法省令第十四號(明治三十二年五月、同三十八年同省令第二十號ヲ以テ改正)

土地登記簿、建物登記簿、工場財團登記簿、鑛業財團登記簿及ヒ商業登記簿ノ謄本又ハ抄本、請求等ニ關スル手数料左ノ通相定ム

第一條 不動登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第四百二十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサ

銀行會社法令大全 第九編 第四章 第二節 登記簿ノ謄本抄本請求手数料 九百九十五



ルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス

第二條 不動産登記法第二十一條ノ規定ニ依リ登記簿又ハ其附屬書類ノ閲覧ヲ請求スル者ハ手数料金拾錢ヲ納ムヘシ

第三條 非訟事件手續法第四百十三條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金拾錢ヲ納ムヘシ

第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定ニ依リ商業登記ニ付キ登記濟證ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金五錢ヲ納ムヘシ

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求スル場合ニハ之ヲ適用セス

### 第三節 整理地登記規則及取扱手續

#### 第一款 整理地登記規則

##### 整理地登記規則(明治三十三年一月勅令第二二號)

第一條 耕地整理法ニ依リ整理地區ニ編入シタル土地ノ登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノ

ノヲ除クノ外不動産登記法ニ依ル

第二條 整理ヲ施行シタル從前ノ土地既登記ナルトキハ整理委員ハ耕地整理法第四十八條ノ認可アリタルコトノ公告及通知ヲ爲シタル後遲滯ナク登記ヲ申請スルコトヲ要ス從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ既登記ノモノアルトキ又ハ從前ノ土地未登記ナルモ整理施行ノ後換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スルトキ亦同シ

第三條 前條ノ登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス

- 一 申請書
  - 二 耕地整理法第四十八條ノ規定ニ依ル農商務大臣ノ認可證又ハ認證アル認可證ノ謄本
  - 三 整理確定圖
  - 四 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面
- 第四條 申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ整理委員又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スルコトヲ要ス
- 一 從前ノ土地及換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
  - 二 從前ノ土地換地ノ地目段別又ハ坪數
  - 三 從前ノ土地ニ割當テタル換地ノ部分、段別又ハ坪數及其ノ部分ノ符號



- 四 換地ノ交付ヲ受ケタル者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所
- 五 耕地整理ニ因リ登記ヲ申請スル旨
- 六 登記所ノ表示
- 七 年月日

第五條 従前ノ土地既登記ナルト未登記ナルトヲ問ハス換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スル場合ニ於テハ申請書ニ前條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス但シ地役權換地ノ一部ノミニ存スルトキハ其ノ部分ヲ表示シタル圖面ヲ添附スルコトヲ要ス

- 一 整理施行ニ於ケル換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字及土地ノ番號
- 二 整理施行ニ於ケル換地ノ地目段別又ハ坪數
- 三 整理施行前ニ於ケル換地ノ所有者ノ氏名及住所若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所
- 四 地役權ノ存スル換地ノ部分及其ノ部分ノ符號

第六條 換地ノ一部所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ノ目的タル場合ニ於テハ申請書ニ第四條ニ掲ケタル事項ノ外權利ノ目的タル換地ノ部分及其ノ符號ヲ記載スルコトヲ要ス

第七條 參加土地所有者従前ノ土地一箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ登記官吏ハ従前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス

旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス

所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)従前ノ土地ノ一部ニ存スル場合ニ於テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ従前ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ従前ノ土地中權利ノ目的タリシ部分ニ割當テタル換地ノ部分ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ變更シタル旨ヲ附記シ従前ノ土地中權利ノ目的タリシ部分ノ表示ヲ朱抹スルコトヲ要ス

従前ノ土地ニ關スル權利ニシテ他ノ土地ニ關スル權利ト共ニ先取特權、質權又ハ抵當權ノ目的タル場合ニ於テ耕地整理ニ因リテ他ノ土地ニ關スル權利ノ表示ニ變更ヲ生シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ従前ノ土地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ變更ヲ附記スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ不動産登記法第二百六條ノ規定ヲ準用ス

換地ニ地役權ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ従前ノ土地ノ登記用紙中丙區事項欄ニ其ノ登記ヲ移シ其ノ登記ノ末尾ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス但シ耕地整理ニ因リ其ノ登記中ニ記載シタル要役地若ハ承役地ノ表示、地役權ノ範圍又ハ地役權ニ存スル土地ノ部分ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ變更ヲ附記シ地役權ノ存スル部分ノ表示ヲ爲シタル事項ヲ朱抹スルコトヲ要ス前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ地役權ニ關スル登記アル土地ノ登記用



紙中丙區事項欄ニ耕地整理ニ因リテ地役權ニ關スル登記ヲ登記何號ニ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ前ノ登記ヲ朱抹シ捺印スルコトヲ要ス

第八條 參加土地所有者從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ數箇ノ土地中其ノ一箇ノ登記用紙中表示欄ニ換地、換地ヲ從前ノ土地ニ割當テタル部分及整理施行前ニ於ケル從前ノ土地ノ表示ヲ爲シ他ノ登記用紙ニ登記シタル從前ノ土地ニ付テハ其ノ登記番號ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ其ノ登記用紙ニ於ケル前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス  
前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ他ノ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ耕地整理ニ因リテ登記何號ニ移シタル旨ヲ記載シ前ノ表示、其ノ番號登記番號ヲ朱抹シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スルコトヲ要ス

第九條 前條ノ場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中甲區事項欄ニ他ノ從前ノ土地登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ移シ其ノ登記ハ從前ノ土地ニ割當テタル換地ノ某部分ノミニ關スル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルコトヲ要ス  
換地ノ一部未登記ノ從前ノ土地ニ割當テタルモノアル場合ニ於テハ換地ノ表示ヲ爲シタル

登記用紙中甲區事項欄ニ其ノ換地ノ部分ニ付所有權保存ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス  
他ノ從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ニ關スル登記アルキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ換地ノ表示ヲ爲シタル登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ權利ニ關スル登記ヲ移シ從前ノ土地ニ割當テタル換地ノ某部分ノミ其ノ權利ノ目的タル旨、耕地整理ニ由リテ登記何號ヨリ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス

第十條 參加土地所有者從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テハ登記官吏ハ從前ノ土地ノ登記用紙中表示欄ニ一箇ノ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ前ノ表示及其ノ番號ヲ朱抹スルコトヲ要ス  
從前ノ土地登記用紙ニ所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ相當區事項欄ニ他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其ノ權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ他ノ各換地ニ付登記用紙中登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載スルコトヲ要ス



換地ノ登記用紙中甲區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ所有權ニ關スル登記ヲ轉寫シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨、申請書受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ登記官吏捺印スルヲ要ス從前ノ土地ノ登記用紙ニ所有權以外ノ權利(地役權ヲ除ク)ニ關スル登記アルトキハ登記官吏ハ職權ヲ以テ換地ノ登記用紙中相當區事項欄ニ從前ノ土地ノ登記用紙ヨリ其ノ權利ニ關スル從前ノ登記ヲ轉寫シ且從前ノ土地ニ割當テタル他ノ換地ニ關スル權利ノ表示ヲ爲シ其ノ權利ト共ニ所有權以外ノ權利ノ目的タル旨、耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨及其ノ年月日ヲ記載シ捺印スルコトヲ要ス

第十二條 第七條第二項乃至第五項ノ規定ハ參加土地所有者從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ノ交付ヲ受ケ又ハ從前ノ土地一箇ニ對シ數箇ノ換地ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於ケル登記ニ之ヲ準用ス

第十三條 未登記ノ從前ノ土地ニ對スル換地ニ地役權ノ登記アル場合ニ於テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ登記用紙番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ表示欄ニ換地ノ表示ヲ爲シ耕地整理ニ因リテ登記ヲ爲ス旨ヲ記載シ甲區事項欄ニ所有權保存ノ登記ヲ爲シ且內區事項欄ニ地役權ニ關スル登記ヲ移スコトヲ要ス

第七條第四項及第五項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 登記官吏登記ヲ完了シタルトキハ其ノ旨ヲ整理委員ニ通知スルコトヲ要ス

第十五條 登記官吏第十三條ノ規定ニ依リ登記ヲ爲シタルトキハ換地及之ニ割當テタル從前ノ土地ノ表示、耕地整理ニ因リテ所有權及地役權ニ關スル登記ヲ爲シタル旨ヲ換地ノ所有者ニ通知スルコトヲ要ス

第十六條 從前ノ土地舊登記簿ニ登記シタルモノナル場合ニ於テ第八條第二項ノ手續ヲ爲スヘキトキハ舊登記簿ニ其ノ登記ヲ爲スコトヲ得

第十七條 耕地整理法第二條ノ規定ニ依リ一人ニシテ其ノ所有地ノ整理ヲ施行シタル場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ整理施行ニ關スル農商務大臣ノ認可證又ハ認證アル認可證ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

附則

本令ハ耕地整理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二款 整理地登記取扱手續

整理地登記取扱手續(明治三十三年三月司法省令第九號(三十八年同省令第三二號迄二次改正))

第一條 整理地登記規則ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法



施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 整理地ノ登記ニ付テハ別ニ整理地登記見出帳ヲ備フヘシ

整理地登記見出帳ハ別記雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條 整理地登記見出帳ニハ豫メ一ノ部ヨリ九ノ部マテヲ設ケ置キ整理地登記規則ニ依ル登記ヲ爲ス毎ニ換地ノ番號ノ字頭ニ依リ相當ノ部(十百千ノ數ヲ冠スルモノハ一ノ部ニ記入スルノ類)ニ換地ノ番號、從前ノ土地ノ番號登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

前項ノ記入ヲ爲シタルトキハ土地登記見出帳又ハ土地分合登記見出帳ノ備考欄ニ從前ノ土地ニ對スル換地ノ番號ヲ記入シ其ノ見出ヲ朱抹スヘシ

第四條 整理確定圖及ヒ整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出シタル圖面ニハ申請書受附ノ年月日、受附番號及ヒ登記番號ヲ記載スヘシ

前項ノ圖面ニハ番號ヲ附シ便宜之ヲ整理シ申請書受付ノ日ヨリ十年間之ヲ保存スヘシ

第五條 整理確定圖ノ番號ハ登記用紙中表示欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載シ整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出シタル圖面ノ番號ハ丙區事項欄ニ爲シタル登記ノ末尾ニ之ヲ記載スヘシ

第六條 整理地登記規則第五條但書ニ依リ提出スヘキ圖面ニハ換地ノ所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、方位及ヒ地役權ノ存スル換地ノ部分ノ段別又ハ坪數竝ニ其部分ノ符號ヲ記載シテ整理委員署名捺印スヘシ

第六條ノ二 整理地登記規則及ヒ第十七條ニ依リ提出シタル農商務大臣ノ認可證ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ整理委員ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ提出スヘシ

登記官吏カ認可證ノ原本ヲ還付スルトキハ其謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第七條 整理地登記規則第七條第三項、第十二條、第十四條及ヒ第十五條ノ通知事項、通知受クル者及通知ヲ發スル年月日ハ不動産登記法施行細則第十四條第五號ノ通知簿ニ之ヲ記入シ通知書ト契印スヘシ

第八條 土地整理法第六號ノ規定ニ依ル登記簿其他附屬書類ノ謄寫ヲ求ムルトキハ登記官吏ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ  
(別記ハ之ヲ略ス)

### 第四節 臺灣土地登記規則及施行規則



第一款 臺灣土地登記規則

千六

臺灣土地登記規則(明治三十八年五月律令第三號)  
(同三十九年律令第四號ヲ以テ改)

第一條 土地臺帳ニ登錄セラレタル土地ニ關シ左ニ掲ケタル權利ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ハ相續又ハ遺言ニ因ル場合ヲ除クノ外此ノ規則ニ依リ登記ヲ爲スニアラサレハ其ノ效力ヲ生セス但シ相續又ハ遺言ニ因ル場合ト雖登記ヲ爲スニアラサレハ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

一 業主權

二 典權

三 胎權

四 賤耕權

第二條 登記シタル典權又ハ胎權ヲ有スル者ハ債務ノ擔保ニ供セラレタル土地ニ付他ノ債權者ニ先チ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得

競賣法中質權ニ關スル規定ハ典權ニ、抵當權ニ關スル規定ハ胎權ニ之ヲ準用ス

第三條 土地登記ハ其ノ土地ヲ管轄スル地方法院、其ノ出張所又ハ登記所ヲシテ之ヲ取扱ハ

シム

第四條 土地登記ニ付テハ此ノ規則ニ定ムルモノノ外不動産登記法ヲ準用ス但シ同法中司法大臣ノ職權ニ屬セシメタルモノハ臺灣總督之ヲ行ヒ地方裁判所ノ職權ニ屬セシメタルモノハ覆審法院ヲシテ之ヲ行ハシム

第五條 前條ノ規定ニ依リ不動産登記法ヲ準用スル場合ニ於テハ業主權ニ付テハ所有權ニ典權ニ付テハ質權ニ、胎權ニ付テハ抵當權ニ、賤耕權ニ付テハ永小作權ニ關スル規定ニ依ル

第六條 土地登記簿ノ用紙ニハ甲乙丙ノ三區ヲ設ク

甲區事項欄ニハ業主權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ典權胎權ニ關スル事項ヲ記載ス

丙區事項欄ニハ賤耕權ニ關スル事項ヲ記載ス

第七條 登記ヲ申請スル者ハ土地臺帳所管廳ノ下付シタル土地臺帳謄本ヲ提出スヘシ但シ既登記ノ土地ハ此ノ限ニ在ラス

第八條 登記官吏ハ申請ニ係ル登記事實ヲ調査シ其ノ事實真正ナラスト認ムルトキハ理山ヲ付シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スルコトヲ要ス

前項ノ調査ハ他官廳ニ之ヲ囑託スルコトヲ得



登記官吏カ登記事實ヲ調査スルニ付日時ヲ要スル場合ニ於テ同一ノ土地ニ關シ他ノ登記申請アリタルトキハ職權ヲ以テ前ノ登記申請ノ爲假登記ヲ爲スコトヲ要ス  
前ノ登記申請ヲ却下シタルトキハ前項ノ假登記ハ職權ヲ以テ之ヲ抹消スヘシ

第九條 土地臺帳所管廳ハ未登記ノ土地ニ付テハ不動産登記法第十一條第二項ノ通知ヲ爲スコトヲ要セス

第十條 第一條ニ掲ケタル事項ヲ目的トスル法律行為ニ付公正證書作成ノ申請ヲ爲シタル者ハ同時ニ其ノ登記ノ申請ヲ爲シタルモノト看做ス

公證官吏ハ公正證書ヲ作りタルトキハ遲滞ナク管轄登記官廳ニ登記ヲ囑託スヘシ  
第十一條 此ノ規則ニ規定スルモノノ外必要ナル規定ハ臺灣總督之ヲ定ム

附則

第十二條 此ノ規則ノ施行期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

第十三條 此ノ規則施行前ニ設定シタル典權胎權及賤耕權ハ此ノ規則施行ノ日ヨリ一箇年内ニ此ノ規則ニ依リ登記ヲ爲スニアラサレハ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス但シ嘉義、斗六、

鹽水港廳管内ニ在リテハ其ノ期間ヲ明治三十九年十二月三十一日トス

第十四條 明治三十六年律令第二號ニ依リ設定シタル胎權ニ關シテハ仍同令ヲ適用ス

第十五條 此ノ規則ハ明治三十七年律令第三號中登記ノ取扱ニ關スル規定ノ適用ヲ妨ケス

第二款 臺灣土地登記規則施行規則

臺灣土地登記規則施行規則(明治三十八年六月臺灣總督府令第四十三號 同三十八年同府令第六十一號ヲ以テ改正)

第一條 臺灣土地登記規則ニ依ル土地ノ登記ハ此ノ規則ニ於テ特ニ規定スルモノノ外明治三十二年(五月)司法省令第十一號不動産登記法施行細則ニ依ル但シ同則中司法大臣トアルハ臺灣總督、地方裁判所トアルハ覆審法院、區裁判所トアルハ地方法院及其ノ出張所、區裁判所出張所トアルハ地方法院及其ノ出張所管内登記所、市、區、町村長トアルハ廳長又ハ支廳長トス

土地臺帳曆本ハ之ヲ設備セス

第二條 土地登記簿ハ別記第一號雛形ニ依リ覆審法院ニ於テ調製シ登記官廳ノ請求ニ因リ之ヲ交付スヘシ

第三條 印鑑ハ別記第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四條 官廳又ハ公共ノ團體ノ公賣處分、土地收用又ハ遺言ニ因ル未登記ノ土地業主權移轉ノ登記ノ申請又ハ囑託アリタルトキハ不動産登記法第二百二十九條 規定ヲ準用ス未登記



土地業主權移轉ノ判決アリタルトキ亦同シ

第五條 公業ニ屬スル土地ノ登記ハ其ノ管理人ヨリ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ登記官吏ハ業主名ノ外其ノ管理人ノ住所氏名ヲ土地登記簿ニ記載スヘシ

第六條 公業管理人ノ變更アリタルトキハ新管理人ヨリ變更ノ登記ヲ申請スヘシ

登記官廳ハ公業管理人ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ土地臺帳所管廳ニ

通知スヘシ

第七條 舊慣ニ依リ厝地ト厝屋ト分ツヘカラサルトキハ建物敷地ノ登記中ニ建物ヲ包含セシ

メテ登記ス此ノ場合ニ於テハ土地登記簿中表示欄建物敷地ノ次ニ建物ヲ表示スヘシ

第八條 前條厝屋ノ登記ニ關シテハ不動産登記法中建物ニ關スル規定ヲ準用ス

第九條 厝屋ト厝地トヲ分離シテ讓渡シ又ハ他ノ權利ノ目的ト爲ストキハ厝屋ノ登記ノ抹消

ヲ申請スヘシ

第十條 第七條ノ厝ニ關スル權利ハ之ヲ土地ニ關スル權利ト看做ス

第十一條 墾耕權ハ耕作、牧畜其ノ他農業ヲ目的ト爲ス土地ノ貸借トス

第十二條 地方費區、罹災救助基金、公學校、學租財團、仁濟院、慈惠院及普濟院カ土地ニ關ス

ル權利ニ付爲スヘキ登記ニ關シテハ不動産登記法中公署ニ關スル規定ヲ準用ス

第十三條 臺灣總督府ノ所管(地方費區ヲ含ム)ニ係ル土地ノ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ臺

灣總督ノ告示ヲ以テ指定シタル官吏ハ不動産登記法第三十五條第五號ノ書面ヲ提出スルヲ

要セス各省ノ所管ニ係ル土地ノ登記ノ囑託ヲ爲ス場合ニ於テ明治三十五年勅令第五號ニ基

キ各省大臣ノ指定シタル官吏亦同シ

第十四條 臺灣土地登記規則施行後新ニ土地臺帳ニ登錄セラレタル土地ニ關シ其ノ登錄前設

定シタル典權胎權及墾耕權ハ土地臺帳登錄ノ日ヨリ六箇月内ニ登記ヲ爲スニアラサレハ第

三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條 臺灣土地登記規則施行前ニ設定シタル典權ニシテ登記規則施行後設定ノ登記ヲ爲

サスシテ其ノ消滅ノミノ登記ヲ申請スル者アリタルトキハ先ツ職權ヲ以テ典權設定ノ登記

ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ土地臺帳所管廳ニ對シテハ土地臺帳ニ典權設定ノ記載アル場合ニ限り消

滅登記ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

(別記ハ之ヲ略ス)

### 第五節 工場抵當登記取扱手續



工場抵當登記取扱手續(明治三十八年六月  
司法省令第十八號)

第一條 工場抵當法ニ依ル登記ニ付テハ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除ク外不動産登記法施行細則ノ規定ニ依ル

第二條 工場財團登記簿ハ附録第一號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第三條 工場財團共同人名簿ハ附録第二號雛形ニ依リ地方裁判所ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第四條 工場財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ

外工場ノ圖面ヲ提出スヘシ

第五條 各別ノ所有者ニ屬スル數箇ノ工場ニ付工場財團所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ工場抵當法第二十一條第一號乃至第三號ノ事項ニ付各所有者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載スヘシ

第六條 工場財團目錄ノ記載ハ後九條ノ規定ニ從フヘシ

第七條 土地ニ付テハ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數及用方ヲ記載スヘシ

第八條 工作物ニ付テハ其ノ種類、構造及建坪又ハ延長ヲ記載シ且其ノ所在ノ土地ヲ表示ス

ヘシ

第九條 機械、器具、電柱、電線、配置諸管、軌條其ノ他ノ附屬物ニ付テハ其ノ種類、構造、箇數又ハ延長ヲ記載シ若製作者ノ氏名又ハ名稱、製造ノ年月、記號、番號其ノ他同種類ノ他ノ物ト區別スルニ足ルヘキ特質アルトキハ其ノ特質ヲモ記載スヘシ

數箇ノ土地又ハ工作物ノ一ニ附屬スル物ニ付テハ其ノ附屬スル土地又ハ工作物ヲ表示スヘシ

輕微ナル附屬物ノ記載ハ概括シテ之ヲ爲スコトヲ得

第十條 登記シタル船舶ニ付テハ船舶登記規則第十六條ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第十一條 地上權ニ付テハ第七條ニ掲ケタル事項ノ外設定ノ目的及範圍、存續期間、地代及其ノ支拂時期、設定ノ年月日並ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十二條 賃借權ニ付テハ第七條、第八條、第九條又ハ第十條ニ掲ケタル事項ノ外存續期間、借貸及其ノ支拂時期、設定ノ年月日並ニ貸貸人ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十三條 工場抵當法第十六條第二項ニ依リ抵當權ノ目的タルヘキ地役權ニ付テハ承役地ノ表示、設定ノ目的及範圍設定ノ年月日並ニ所有者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十四條 工業所有權ニ付テハ其ノ權利ノ種類、名稱、番號及原簿登錄ノ年月日ヲ記載スヘシ



工業所有權ニ關スル實施權ニ付テハ實施權ノ範圍竝ニ本權ノ種類、名稱、番號、原簿登錄ノ年月日及其ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十五條 數箇ノ工場ニ付工場財團ヲ設クル場合ニ於テハ各工場ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テハ各所有者ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

第十六條 工場財團目錄ヲ作成スルニハ美濃判大ノ料紙ヲ用ユヘシ

第十七條 工場財團目錄ニハ其ノ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ申請人カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第十八條 工場ノ圖面ニハ工場ニ屬スル土地及工作物ノ方位、形狀及間尺竝ニ重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人之ニ署名、捺印スヘシ

地上權ノ目的タル土地、賃借權ノ目的タル土地及工作物竝ニ承役地ニ付テハ各其ノ方位形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設クル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十九條 登記官吏カ工場抵當法第二十條第三項ニ依リ表示欄ニ工場財團ノ表示ヲ爲スニハ

工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第五條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

第二十條 登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ圖面ニ申請書受付ノ年月日、受付番號及登記番號ヲ記載スヘシ

工場抵當法第三十九條ニ依リ提出シタル目錄ニハ申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スルヲ以テ足ル

第二十一條 登記官吏カ工場抵當法第二十三條第二項、第四項、第二十六條、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十二條、第四十四條第二項、第四項及第四十八條第二項ニ依リ通知ヲ爲ストキハ其ノ要旨、通知ヲ受クル者及通知ヲ發スル年月日ヲ不動産登記法施行細則第十四條第五號ノ通知簿ニ記入シ通知書ト契印スヘシ

第二十二條 登記官吏カ工場抵當法第二十三條第二項、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項及第四十八條第二項ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ受付帳ニ通知事項ノ要旨、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱、受付ノ年月日及受付番號ヲ記載シ通知書ニ受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ但シ通知事項ノ要旨ハ登記ノ目的



欄ニ、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱ハ申請人ノ氏名欄ニ之ヲ記載スヘシ

第二十三條 工場財團目錄及工場ノ圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第二十四條 工場抵當法第三條ノ場合ニ於テハ土地又ハ建物カ同法第一條ノ工場ニ屬スルモノナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スヘシ

第二十五條 前條ノ場合ニ於テ土地又ハ建物ノ登記用紙中相當區事項欄ニ其ノ登記ヲ爲スルキハ工場抵當法第三條ニ依リテ目錄ノ提出アリタルコトヲ記載スヘシ

第二十六條 第九條、第十六條、第十七條、第二十條及第二十三條ノ規定ハ工場抵當法第三條ノ目錄ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ工場抵當法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(附錄雛形ハ之ヲ略ス)

第六節 鑛業抵當登記取扱手續

鑛業抵當登記取扱手續(明治三十八年六月  
司法省令第十九號)

第一條 鑛業抵當法ニ依ル鑛業財團ノ登記ニ付テハ本令ニ段別ノ定アルモノヲ除クノ外工場

抵當登記取扱手續中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第二條 鑛業財團所有保存ノ登記ヲ申請スルニハ鑛業抵當法第三條及工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外工作物ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出スヘシ

前項ノ圖面ニハ申請人署名、捺印スヘシ

第三條 鑛業財團目錄ニ掲クヘキ鑛業權ニ付テハ鑛區ノ位置鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權設定ノ年月日及其ノ登録番號ヲ記載スヘシ

探掘權ニ付期限アルモノニ付テハ其ノ期限ヲモ記載スヘシ

第四條 鑛業財團目錄ニ掲クヘキ土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ郡、市、區、町村、字、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數、使用ノ目的、使用ノ時期、使用料及其ノ支拂時期竝ニ土地所有者及關係ノ人名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第五條 數箇ノ鑛業權ニ付鑛業財團ヲ設クル場合ニ於テ鑛業財團目錄ヲ作成スルニハ各鑛區ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ但シ數箇ノ鑛區ニ付合併施業ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條 登記官吏カ鑛業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ鑛業財團ノ表示ヲ爲スニハ鑛區ノ位置鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權ノ登録番號及鑛業事務所ヲ記載スヘシ



第七條 鑛業財團目錄及第二條ニ依リ提出シタル圖面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

附則

本令ハ鑛業抵當法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

# 第十編 刑事ニ關スル法規

## 第一章 紙幣類似證券取締法

紙幣類似證券取締法(明治三十九年五月法律第五十一號)

第一條 一樣ノ形式ヲ具ヘ箇々ノ取引ニ基カスシテ金額ヲ定メ多數ニ發行シタル證券ニシテ紙幣類似ノ作用ヲ爲スモノト認ムルトキハ主務大臣ニ於テ其ノ發行及流通ヲ禁止スルコトヲ得

前項ノ規定ハ一樣ノ價格ヲ表示シテ物品ノ給付ヲ約束スル證券ニ付之ヲ準用ス

第二條 前條ニ依リ證券ノ發行及流通ヲ禁止シタルトキハ主務大臣ハ直ニ其ノ旨ヲ公告ス

禁止ノ公告後ニ發行シ又ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル證券ハ無効トス

第三條 禁止ニ違反シテ證券ヲ發行シ又ハ其ノ證券ヲ授受シタル者ハ一年以下ノ重禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ證券ヲ沒收ス

禁止ニ違反シテ證券ヲ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第四條 禁止ノ公告後ニ發行シ又ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル證券ハ裁判ニ依リ



沒收スル場合ヲ除クノ外何人ノ所有ヲ問ハ行政處分ヲ以テ之ヲ官沒ス

千二十

## 第二章 通貨及證券模造取締法

通貨及證券模造取締法(明治二十八年四月  
法律第二十八號)

第一條 貨幣、政府發行紙幣、銀行紙幣、兌換銀行券、國債證券及地方債券ニ紛ハシキ外觀ヲ有スルモノヲ製造シ又ハ販賣スルコトヲ得ス

第二條 前條ニ違犯シタル者ハ一月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第三條 第一條ニ掲ケタル物件ハ刑法ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス警察官ニ於テ之ヲ破毀スヘシ

第四條 第一條ニ掲ケタル物件ニハ明治九年布告第五十七號ヲ適用ス

## 第三章 外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行

### 券偽造變造及模造ニ關スル法律

法律第六十六號(明治三十八年  
三月)

第一條 流通セシムルノ目的ヲ以テ外國ニ於テノミ流通スル金銀貨、紙幣、銀行券、帝國官府發行ノ證券ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ重懲役又ハ輕懲役ニ處ス

金銀貨以外ノ硬貨ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ輕懲役又ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第二條 流通セシムルノ目的ヲ以テ偽造又ハ變造ニ係ル前條ニ記載シタル物ヲ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ前條ノ例ニ同シ

第三條 情ヲ知テ偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ヲ行使シ若ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授受シタル者ハ輕懲役又ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス

取得シタル後其ノ偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ行使シ若ハ流通セシムルノ目的ヲ以テ授付シタル者ハ其ノ名價三倍以下ノ罰金ニ處ス但シ貳圓以下ニ降スコトヲ得ス

第四條 第一條ノ偽造又ハ變造ノ用ニ供シ若ハ供セシムルノ目的ヲ以テ器械若ハ原料ヲ製造シ授受シ、若ハ準備シ又ハ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處ス



第五條 販賣スルノ目的ヲ以テ第一條ニ記載シタル物ニ紛ハシキ外觀ヲ有スル物ヲ製造シ又ハ帝國若ハ外國ニ輸入シタル者ハ二年以下ノ重禁錮又ハ貳百圓以下ノ罰金ニ處ス  
前項ニ記載シタル物ヲ販賣シタル者ハ前項ノ例ニ同シ

第六條 前數條ニ規定シタル輕罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第七條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ禁錮ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第八條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シタル者偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物ノ未タ行使セラレサル前又ハ第五條ニ記載シタル物ノ未タ授付セラレサル前ニ於テ官ニ自首シタルトキハ主刑ヲ免除スルコトヲ得

第九條 本法ニ規定シタル罪ヲ犯シ外國ニ於テ確定裁判ヲ經タル者ト雖更ニ之ヲ處罰スルコトヲ妨ケス但シ犯人既ニ外國ニ於テ言渡サレタル刑ノ全部又ハ一部ノ執行ヲ受ケタルトキハ刑ノ執行ヲ減免スルコトヲ得

第十條 偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物及第五條ニ記載シタル物ハ裁判ニ依リ沒收スル場合ノ外何人ノ所有ヲ問ハス行政ノ處分ヲ以テ之ヲ官沒ス  
官沒ニ關スル手續ハ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 偽造又ハ變造ニ係ル第一條ニ記載シタル物及第五條ニ記載シタル物ニハ明治九年布告第五十七號ヲ準用ス

附則

本法ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十七年勅令第百七十七號ハ之ヲ廢止ス

勅令第五十七號(明治三十八年三月)

明治三十八年法律第六十六號ハ之ヲ臺灣ニ施行ス

第四章 雜則

第一 日本銀行ニ於テ發行スル兌換銀行券ノ偽造  
變造及其取受行使ニ關スル件

律令第一號(明治三十五年二月)

日本銀行ニ於テ發行スル兌換銀行券ノ偽造變造及其ノ取受行使ニ關シテハ刑法第二編第四章



第一節ノ規定ヲ準用ス

千二十四

第二 臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造

等ニ關スル件

法律第五十一號(明治三十八年三月)

刑法中貨幣ニ關スル犯罪ノ規定ハ臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ニ之ヲ準用ス

## 第十一編 追加

第一 郵便貯金規則中改正ノ件

遞信省令第十九號(明治三十九年五月)

第八十六條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但シ公共團體ヨリ其ノ所有ニ係ル證券ノ保管ヲ請求スル場合ニ於テハ其ノ保管料金を徴收セス

第二 戰役ニ關シ下賜セラレタル公債證書ヲ郵便貯

金ニ依リ保管ノ件

遞信省令第二十號(明治三十九年五月)

明治三十七八年戰役ニ關シ下賜セラレタル公債證書ヲ其ノ受領者ヨリ郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ保管ヲ請求スル場合ニ於テハ當分ノ内保管料金を徴收セス

前項ノ請求ヲ爲サントスル者ハ其ノ下賜ニ關スル辭令書ヲ呈示シ又ハ市區町村長ノ證明書若



ハ其ノ他ノ方法ニ依リ郵便官署ニ對シ其ノ受領者タルコトヲ證明スヘシ

第三 臨時公債證書發行ノ件

大藏省令第二十六號(明治三十九年六月)

第一條 臨時事件ニ關スル一時賜金ニ充ツル爲明治三十九年法律第一號ニ依リ臨時公債證書ヲ發行ス

第二條 本公債證書ノ發行價格ハ證券額面百圓ニ付金九拾五圓トス

第三條 本公債ノ利子ハ一時賜金發令ノ日ノ屬スル月ヨリ之ヲ附ス

第四條 明治三十九年大藏省令第八號臨時事件公債規程第二條乃至第五條ノ規定ハ本公債ニ之ヲ準用ス

第四 明治三十七年律令第八號廢止ノ件

律令第五號(明治三十九年六月)

明治三十七年律令第八號ハ之ヲ廢止ス但シ同律令ニ依リ既ニ發行シタル銀行券ニ付テハ此ノ限ニアラス

第五 南滿洲鐵道株式會社ニ關スル件

勅令第四百二十二號(明治三十九年六月)

第一條 政府ハ南滿洲鐵道株式會社ヲ設立セシメ滿洲地方ニ於テ鐵道運輸業ヲ營マシム

第二條 會社ノ株式ハ總テ記名ト爲シ日清兩國政府及日清兩國人ニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第三條 日本政府ハ滿洲ニ於ケル鐵道其ノ附屬財產及炭坑ヲ以テ其ノ出資ニ充ツルコトヲ得

第四條 會社ハ新ニ募集スル株式總額ヲ數回ニ分ツテ募集スルコトヲ得但シ第一回募集額ハ總額ノ五分ノ一ヲ下ルコトヲ得ス

第五條 株金ノ第一回ノ拂込金額ハ株金ノ十分ノ一迄下ルコトヲ得

第六條 會社ハ本社ヲ東京市ニ支社ヲ大連ニ置ク

第七條 會社ニ總裁一人副總裁一人理事四人以上監事二人乃至五人ヲ置ク

第八條 總裁ハ會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副總裁ハ總裁事故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副總裁及理事ハ總裁ヲ補助シ會社ノ業務ヲ分掌ス



監事ハ會社ノ業務ヲ監査ス

第九條 總裁副總裁ハ勅裁ヲ經テ政府之ヲ命シ其ノ任期ハ五箇年トス  
理事ハ五十株以上ヲ有スル株主中ヨリ政府之ヲ命シ其ノ任期ハ四箇年トス  
監事ハ株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ハ三箇年トス

第十條 總裁副總裁及理事ノ報酬及手當ノ額ハ政府之ヲ定ム

第十一條 總裁副總裁及理事ハ在任中何等ノ名稱ニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ従事スルコトヲ得ス但シ政府ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 政府ハ南滿洲鐵道株式會社監理官ヲ置キ會社ノ業務ヲ監視セシム

監理官ハ何時ニテモ事業ノ施設ヲ監査シ會社ノ金庫帳簿及諸般ノ文書物件ヲ検査スルコトヲ得

監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ會社ニ命シテ營業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第十三條 政府ハ會社ノ事業ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第十四條 會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ニシテ法律命令若ハ會社ノ目的ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ又ハ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ政府ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職スルコトヲ得

第十五條 政府ハ必要ト認ムルトキハ帝國內ニ於ケル鐵道ニ關スル法令ノ規定ヲ會社ニ適用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ政府ハ適用スヘキ法令ノ事項ヲ會社ニ豫告スヘシ

第十六條 本令ニ別段ノ定ナキモノハ商法及附屬法令ノ規定ヲ適用ス

第十七條 明治三十三年勅令第三百六十六號ハ本令ニ依リ設立スル會社ニ之ヲ適用セス

附則

第十八條 政府ハ設立委員ヲ置キ南滿洲鐵道株式會社設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第十九條 設立委員ハ定款ヲ作り政府ノ認可ヲ得タル後第一回株式ヲ募集スヘシ

第二十條 設立委員ハ第一回株式ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ政府ニ差出シ會社設立ノ許可ヲ稟請スヘシ

第二十一條 前條ノ許可ヲ得タルトキハ設立委員ハ遲滯ナク各株式ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サ



シムルコトヲ要ス

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第二十二條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ南滿洲鐵道株式會社總裁ニ引渡スヘシ

### 第六 債務者ニ代位スル債權者ノ登記申請ニ

關スル件

法律第五十五號(明治三十九年六月)

第一條 債權者カ民法第四百二十三條ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ不動産登記法第三十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ提出シ且申請書ニ同法

第三十六條ニ記載シタル事項ノ外債權者ノ氏名住所若債權者カ法人ナルトキハ其ノ名稱並事務所及代位原因ヲ記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第二條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ事項欄ニ登記ヲ爲スニハ不動産登記法第五十條第二項ニ依ルノ外債權者ノ氏名、住所又ハ名稱並事務所及代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス

第三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動産登記法第六十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ

債權者ニ還付シ且登記済ノ旨ヲ登記權利者ニ通知スルコトヲ要ス  
不動産登記法第六十三條ノ通知ハ債權者ニ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

## 改版銀行會社法令大全終

銀行會社法令大全 第十一編 追加



改版銀行會社法令大全出版豫約申込行社名

本書モ第一回以來ノ例ニ從ヒ非賣品トシテ豫約ノ申込アリタル部數丈出版シタルモノナルガ故ニ本書ノ成リシハ全ク豫約ヲ申込マレシ銀行會社ノ賜ナリト謂フヘシ依テ紀念ノ爲左ニ申込順ニ從ヒ行社名ヲ列記シ謹テ其ノ厚意ヲ謝ス

△東京府

株式會社羽村銀行  
合名會社森村銀行  
日本製麻株式會社  
株式會社倉庫銀行

株式會社八十四銀行  
合名會社中井銀行  
合名會社神木銀行  
株式會社興業貯蓄銀行



株式會社多麻村銀行府中支店

株式會社家滿佐貯蓄銀行

株式會社中加貯蓄銀行

株式會社總房中央銀行

合名會社村井銀行

△京都府

株式會社山城八幡銀行

株式會社周山銀行

大同生命保險株式會社支店

株式會社北濱銀行京都支店

株式會社北濱銀行上京支店

合名會社金山銀行米山利之助君

株式會社尾張屋銀行

帝國ホテル株式會社

株式會社尾張屋銀行小石川支店

合名會社鴻池銀行支店

株式會社三十四銀行京都支店

株式會社天田銀行

株式會社龜岡銀行

株式會社日本貯金銀行京都支店

株式會社京都貯藏銀行

株式會社福知山貯蓄銀行

株式會社川口銀行

△大阪府

株式會社第一銀行西區出張所

關西鐵道株式會社大阪事務所

株式會社浪速銀行大阪西區支店

株式會社第五十八銀行

合名會社加島銀行

合名會社鴻池銀行西支店

合名會社三井銀行大阪支店

株式會社大阪三品取引所

無限責任高木銀行

別途合資會社

大阪砂糖株式會社

住友銀行中之島支店

住友銀行川口支店

日本精糖株式會社出張所

關西コーク株式會社

合資會社加島銀行南支店石川清二君

株式會社五十一銀行

合名會社三林銀行



大同生命保險株式會社

稻西合名會社

株式會社高知銀行大阪支店

合名會社鴻池銀行

株式會社攝河銀行大阪支店

株式會社尾州銀行

株式會社  
更池銀行取締役中野慮吉君

株式會社二十三銀行大阪支店

株式會社第三銀行大阪支店

株式會社尼崎銀行傳法支店

三井物產合名會社大阪支店

內國生命保險株式會社支店

株式會社浪速銀行堺支店

內外株式會社西野支店

株式會社北攝銀行枳根莊支店

株式會社天王寺銀行

株式會社灘商業銀行茨木支店

合名會社大西銀行

笠岡紡績株式會社大阪支店

合名會社虎屋銀行

株式會社大阪貯蓄銀行

株式會社大阪實業銀行

株式會社八王寺第七十八銀行支店

株式會社第四百七十七銀行支店

株式會社十八銀行支店

△神奈川縣

合名會社茂木銀行

神榮株式會社橫濱支店

株式會社武相貯蓄銀行金澤支店

中央倉庫株式會社

△兵庫縣

鐘淵紡績株式會社營業部

合名會社三井銀行神戸支店

株式會社浪速銀行

株式會社浪速銀行南支店

大日本麥酒株式會社大阪支店

パウル・シユラム商會

株式會社橫濱七十四銀行

株式會社橫濱貿易銀行

兵庫運輸株式會社

橫濱正金銀行神戸支店



株式會社川崎造船所  
株式會社湊西銀行  
株式會社三十八銀行神戸支店  
株式會社三十四銀行神戸支店  
江井ヶ島酒造株式會社  
株式會社相生銀行  
株式會社赤穂產業銀行  
株式會社淡路興業銀行湊支店  
株式會社柳城銀行  
株式會社淡路銀行洲本支店  
株式會社浪速銀行神戸支店

金融株式會社  
大吉合資會社  
株式會社西丹貯蓄銀行草部支店  
合資會社堀銀行  
神戸同盟銀行集會所  
株式會社三田實業銀行  
赤心株式會社  
阪鶴鐵道株式會社事務所  
株式會社淡路銀行  
株式會社尼崎銀行伊丹支店  
株式會社淡路興業銀行

合資會社加島銀行神戸支店  
日本製茶輸出株式會社  
株式會社兵庫貯蓄銀行  
株式會社絲屋銀行  
株式會社九十四銀行網干支店  
株式會社明石貯蓄銀行  
株式會社三田銀行  
株式會社洲本銀行由良支店

△長崎縣

株式會社十八銀行  
合名會社三井物産口ノ津支店

銀行中込行社名

株式會社朝來銀行和田山支店  
株式會社廣銀行  
株式會社五十五銀行  
株式會社淡路貯金銀行鮎原支店  
株式會社網干銀行  
株式會社朝來銀行竹田支店  
株式會社第一銀行兵庫出張所  
株式會社十八銀行佐世保支店  
株式會社早岐銀行佐世保支店

七



株式會社十八銀行福江出張所  
株式會社日本商業銀行長崎支店  
三菱合資會社長崎支店

△新 潟 縣

株式會社百三十九銀行  
株式會社長岡銀行  
株式會社三條銀行  
株式會社北越倉庫銀行

△埼 玉 縣

株式會社所澤銀行  
合名會社鈴木銀行

株式會社早岐銀行  
株式會社玖島銀行  
株式會社相浦銀行

株式會社直江津銀行  
株式會社佐渡銀行  
株式會社成資銀行竹直支店

株式會社久喜銀行幸手支店  
株式會社埼玉農工銀行

株式會社忍商業銀行  
株式會社明治貯蓄銀行大宮支店  
株式會社浦和商業銀行

△群 馬 縣

株式會社下仁田銀行  
桐生織物株式會社

合名會社鈴木銀行鳩ヶ谷支店  
株式會社深谷銀行  
株式會社碓氷產業銀行石都支店  
株式會社足利銀行桐生支店

△千 葉 縣

株式會社川崎  
銀行支店內久保田段八君  
株式會社一宮商業銀行長者支店  
株式會社安房銀行鴨川支店  
株式會社一宮商業銀行

株式會社松戶農商銀行  
株式會社五井銀行  
株式會社千葉割引銀行  
株式會社小草畑銀行



合資會社川崎銀行千葉支店

株式會社佐貫銀行木更津支店

△栃木縣

株式會社下野銀行

株式會社小山銀行

株式會社足利銀行

株式會社黑羽銀行

株式會社下野銀行茂木支店

株式會社下野貯藏銀行

△奈良縣

株式會社伊賀銀行波多野支店

株式會社郡山銀行春日支店

株式會社吉野銀行

株式會社八木銀行高田支店

株式會社大和銀行

株式會社八木銀行三輪支店

株式會社三十四銀行奈良支店

△三重縣

株式會社桑名銀行

合名會社堀内井上銀行

株式會社第八十三上野銀行

株式會社山田銀行

名古屋商業會議所

株式會社百五銀行山田支店

株式會社伊勢銀行龜山支店

株式會社三重銀行前島支店

株式會社伊勢銀行一身田支店

株式會社北山銀行

株式會社四日市銀行津支店

株式會社第一銀行四日市支店

株式會社伊勢銀行

株式會社紀北商業銀行

株式會社伊勢銀行關支店

△愛知縣

丸三麥酒株式會社

大野會社集會所

合名會社山乃内銀行東部出張店

株式會社愛知銀行豊橋支店



株式會社大野銀行新城支店  
 株式會社大野銀行豐橋支店  
 株式會社西尾銀行  
 株式會社幡豆貯蓄銀行  
 株式會社清洲銀行  
 株式會社衣浦貯金銀行  
 株式會社愛知銀行津島支店  
 株式會社知多貯蓄銀行豐濱支店

△靜岡縣

株式會社榛原商業銀行  
 株式會社清水銀行入江支店

株式會社小牧銀行  
 株式會社新城銀行  
 株式會社津島銀行  
 株式會社新城銀行海老支店  
 帝國撚絲株式會社  
 株式會社愛知起業銀行  
 株式會社北濱銀行名古屋支店

日本製茶輸出株式會社靜岡支店  
 株式會社牧之原銀行

株式會社森町銀行  
 株式會社產業銀行  
 株式會社積志銀行  
 株式會社清水銀行

△山梨縣

株式會社興商銀行

株式會社開成銀行  
 株式會社百三十八銀行  
 株式會社靜岡銀行

株式會社第十銀行支店

△滋賀縣

株式會社近江商業銀行  
 株式會社江頭農產銀行野洲支店  
 株式會社江頭農產銀行  
 株式會社百三十三銀行天津支店

株式會社江頭農產銀行草津支店  
 株式會社八幡銀行  
 株式會社百三十三銀行川原町支店  
 株式會社百三十三銀行



株式會社八幡銀行愛知川支店

△岐 阜 縣

株式會社大垣共立銀行

株式會社東美銀行多治見支店

株式會社可兒銀行

株式會社笠松銀行竹鼻支店

株式會社眞利銀行高田支店

株式會社東美銀行

株式會社東美銀行金山支店

株式會社東美銀行今渡支店

△長 野 縣

株式會社近江銀行愛知川支店

株式會社東美銀行下麻生支店

株式會社東美銀行中津川支店

株式會社眞利銀行岐阜支店

株式會社濃明銀行

株式會社十六銀行

株式會社多治見銀行

株式會社飛驒銀行萩原支店

株式會社倉庫銀行諏訪支店

株式會社柵銀行鬼無里支店

株式會社柵銀行戸隠支店

株式會社第六十三銀行

株式會社長野實業銀行

株式會社水内銀行

△宮 城 縣

內國生命保險株式會社仙臺支店

株式會社七十七銀行石卷支店

△福 島 縣

株式會社第七銀行白河出張所

株式會社南佐久銀行

株式會社五加銀行

株式會社富士見銀行

株式會社小松原銀行

株式會社第六十三銀行支店

株式會社御殿銀行新野支店

株式會社第八十八銀行若柳支店

株式會社磐城銀行



株式會社須賀川銀行  
株式會社二本松銀行  
株式會社第七銀行  
株式會社田島銀行

株式會社第七銀行川俣支店  
合名會社原町銀行  
株式會社第七銀行保原支店

△岩手縣

株式會社第九十銀行

株式會社第九十銀行宮古支店

△山形縣

兩羽電氣紡績株式會社  
株式會社楯岡銀行  
株式會社兩羽銀行小松出張所  
株式會社第二百二十二銀行長井支店

株式會社羽前長崎銀行  
株式會社兩羽銀行米澤支店  
合資會社東根銀行

△秋田縣

株式會社本莊銀行  
株式會社第八十四銀行能代支店  
株式會社秋田銀行土崎支店  
戶田銀行

合資會社湯澤銀行  
株式會社大曲銀行  
合資會社能代銀行

△福井縣

株式會社小濱銀行  
株式會社熊川銀行河原市支店  
株式會社福井銀行松本支店

株式會社二十五銀行敦賀支店  
天立爲行君  
株式會社三國商業銀行

△石川縣

大和田銀行金澤支店

合名會社鴻池銀行金澤支店



株式會社八十四銀行大聖寺支店

株式會社鳳至銀行

△富山縣

合資會社密田銀行

株式會社內野銀行

株式會社水橋銀行

△鳥取縣

獎惠合資會社

獎惠合資會社井上支店

株式會社第三銀行鳥取支店

株式會社松江銀行境支店

株式會社第三銀行境支店

株式會社第三銀行倉吉支店

株式會社中國貯蓄銀行

株式會社境通商銀行

△島根縣

株式會社江津銀行

株式會社靜岡商業銀行

株式會社粕淵銀行

合資會社木次銀行

株式會社第三銀行西郷支店

株式會社粕淵銀行赤名支店

株式會社粕淵銀行宅野支店

株式會社第三銀行今市支店

△岡山縣

株式會社倉敷商業銀行

株式會社井原銀行

吉備紡績合資會社

合名會社土居銀行津山支店

株式會社倉敷銀行

株式會社和氣銀行片上支店

岡山電燈株式會社

岡山紡績株式會社

株式會社中備銀行

株式會社玉島商業銀行

株式會社山陽商業銀行笠岡支店

株式會社東兒銀行

株式會社中條銀行福山支店

合資會社星島銀行



株式會社下道銀行妹尾支店

△廣島縣

株式會社三原銀行

株式會社實業銀行

日本火災保險株式會社廣島支店

住友銀行吳支店

株式會社尾道貯蓄銀行廣島支店

株式會社周防銀行廣島支店

株式會社第六十六銀行廣島支店

株式會社山陽貯蓄銀行

株式會社尾道貯蓄銀行府中支店

一日笠銀行

株式會社第六十六銀行福山支店

株式會社竹原銀行

株式會社廣島實業銀行猿猴橋支店

株式會社山陽貯蓄銀行福山支店

株式會社雙三貯蓄銀行

株式會社豐田銀行河內支店

株式會社廣島銀行

株式會社安藝貯蓄銀行

株式會社東城銀行

△山口縣

株式會社小郡銀行

合資會社旭商會

株式會社日本商業銀行岩國支店

株式會社周防銀行高森支店

株式會社萩銀行仙崎支店

馬關電燈株式會社

株式會社由宇銀行今津支店

株式會社百十銀行

△和歌山縣

株式會社日本商業銀行柳井支店

株式會社馬關商業銀行

株式會社大島銀行小松支店

合資會社下松銀行東町支店

株式會社鹽田貯蓄銀行

株式會社馬關商業銀行小月出張店

株式會社長門貯金銀行



株式會社四十三銀行及支店

株式會社和歌山銀行

株式會社田邊銀行

第一綿木ル株式會社

株式會社野上興業銀行神野市場支店

株式會社紀陽貯蓄銀行

株式會社四十三銀行黑江支店

株式會社牟婁銀行

△德島縣

株式會社淡路銀行撫養支店

△香川縣

株式會社熊野共同銀行下里支店

株式會社四十三銀行湯淺支店

株式會社鼎立銀行

合資會社山崎銀行

株式會社熊野共同銀行

株式會社丙申銀行

株式會社鼎立銀行下里支店

和歌山縣廳內津田寬一君

株式會社多度津銀行

株式會社圓龜商業銀行詫間支店

△愛媛縣

株式會社伊豫吉田銀行

株式會社八幡濱貯蓄銀行

株式會社八幡濱貯蓄銀行三机支店

株式會社五十二銀行

住友銀行新居濱支店

株式會社今治商業銀行

△高知縣

株式會社土佐貯金銀行

株式會社琴平銀行

株式會社伊豫農業銀行

株式會社八幡濱貯蓄銀行宇和島支店

株式會社第二十九銀行宇和島支店

株式會社砥部銀行

株式會社西條銀行

株式會社伊豫三島銀行

株式會社高知銀行須崎支店



△福岡縣

株式會社若松貯蓄銀行

株式會社日本商業銀行門司支店

株式會社百三十銀行小倉支店

橫濱火災海上保險株式會社福岡支店

株式會社十七銀行直方支店

△大分縣

株式會社共立四日市銀行

株式會社日田銀行

株式會社大分縣農工銀行

株式會社大分銀行

住友銀行門司支店

株式會社田川貯蓄銀行

合名會社小栗銀行小倉支店

株式會社柳河銀行

株式會社大分殖産銀行

株式會社中津共立銀行

株式會社大分銀行日出支店

株式會社二十三銀行杵築支店

株式會社朝陽銀行

株式會社二十三銀行臼杵支店

株式會社國東貯金銀行

△佐賀縣

合資會社小城銀行

△熊本縣

株式會社水俣銀行

株式會社十八銀行熊本支店

△宮崎縣

株式會社日向銀行

株式會社日州銀行小林支店

株式會社二十三銀行竹田支店

株式會社津組銀行

佐賀商業會議所

株式會社第九銀行八代支店

株式會社第九銀行

株式會社佐土原銀行妻支店

株式會社日向銀行妻支店



株式會社日州銀行都城支店

△鹿兒島縣

鹿兒島電氣株式會社

株式會社第七十三銀行野上傳衛君

株式會社浪速銀行隈之城支店

株式會社浪速銀行鹿兒島支店

△沖繩縣

株式會社國頭銀行

株式會社沖繩銀行

△北海道

株式會社北海道貯蓄銀行岩見澤支店

函館商業會議所

株式會社百十三銀行

株式會社二十銀行釧路支店

株式會社小樽銀行

株式會社日本商業銀行  
小樽支店長 田中劉君

北海道炭礦鐵道株式會社

株式會社十二銀行小樽支店

株式會社二十銀行根室支店

株式會社根室銀行釧路支店

△臺灣

株式會社三十四銀行臺北支店

株式會社三十四銀行臺南支店

合資會社嘉義銀行

株式會社臺灣銀行

株式會社臺灣銀行臺南支店

株式會社臺灣銀行基隆支店

株式會社臺灣農商銀行

△韓國

株式會社十八銀行仁川支店

株式會社第一銀行京城支店

株式會社十八銀行元山支店

株式會社第五十八銀行釜山支店

株式會社第一銀行平壤支店

株式會社第一銀行群山支店

株式會社第一銀行鎮南浦支店



△清 國

日本棉花株式會社上海支店  
日本棉花株式會社漢口支店  
橫濱正金銀行上海支店

橫濱正金銀行天津支店  
大倉洋行

○豫約申込ニ應シ其部數印刷中ナルニモ拘ラス解約セラレタル行名左ノ如シ

合名會社鴻池銀行京都支店 株式會社豐田銀行西條支店  
株式會社丹後共立銀行

改版銀行會社法令大全豫約申込行社名終

明治三十九年六月三十日印刷  
明治三十九年七月十日出版

(非賣品)

著者兼  
發行者

山田正賢

大阪市北區玉江町  
一丁目六十五番屋敷

印刷者

吉村源次郎

大阪市南區鹽町通  
二丁目四十一番屋敷

印刷所

山田元吉

大阪市南區安堂寺橋通  
二丁目二十六番屋敷



既刊書目

(非賣品トシテ出版シタル分)

第一回出版 明治二十九年十一月

法學士柿崎欽吾山田正賢合著

民法

法

講義

義

全一冊

法政大學校友山田正賢著述

憲法

法

講義

義

全一冊

第二回出版 明治三十一年七月

法學士柿崎欽吾山田正賢合著

民法

法

講義

續編

編

全一冊

第三回出版 明治三十二年七月

堀田正忠柿崎欽吾山田正賢合著

商法

法

講義

義

全一冊

山田正賢編纂

銀行會社法令大全

全一冊

第四回出版 明治三十九年七月

柿崎欽吾山田正賢合著

銀行會社

寶典

典

(近刊)

全一冊

山田正賢編纂

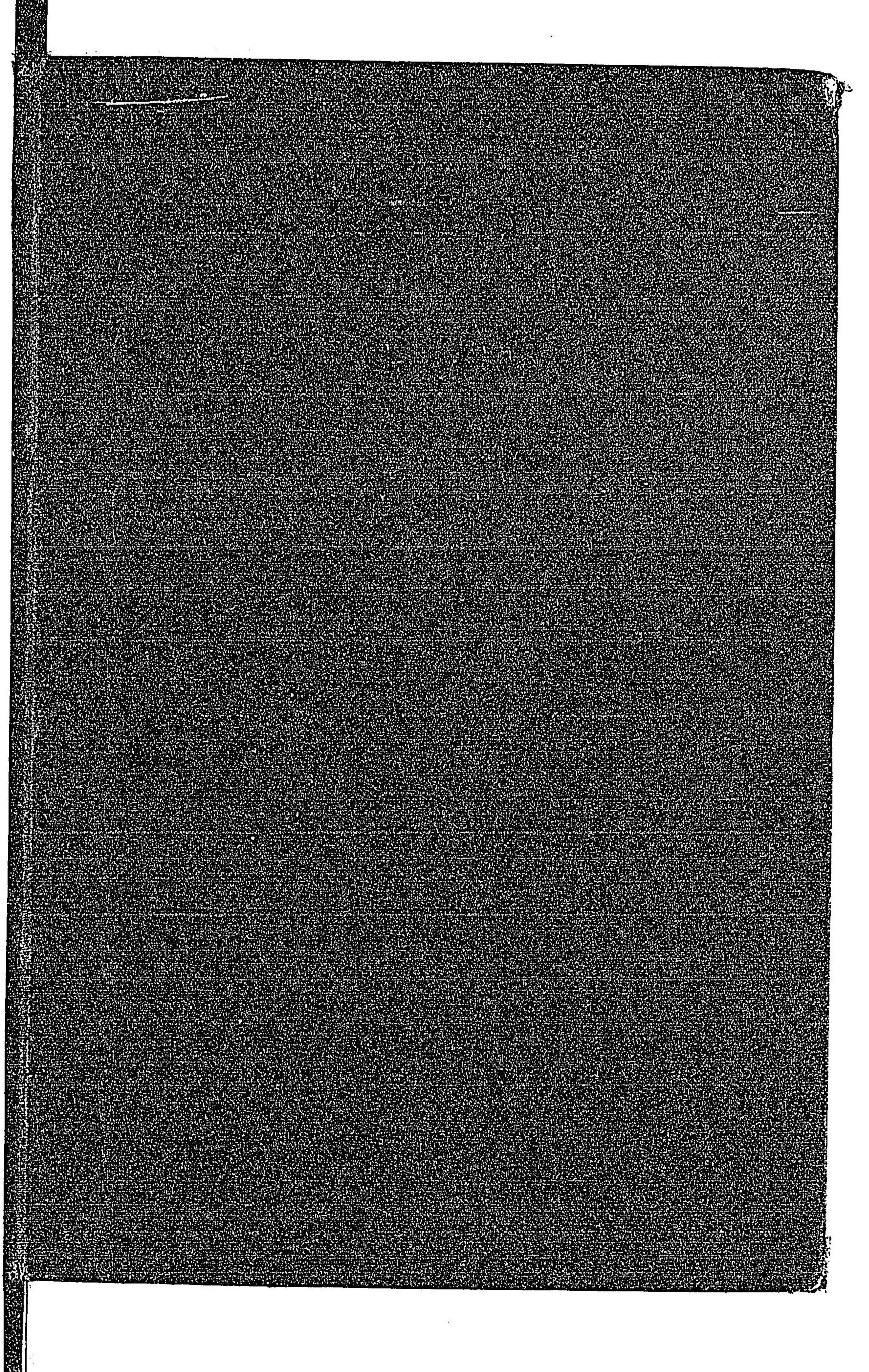
改版銀行會社法令大全

全一冊



84.  
164.







84  
164

禁電子式複写

030910-000-6

CZ-5-045

銀行会社法令大全

山田 正賢/編

M39

BBC-0224





